

国指定史跡 旧豊宮崎文庫 史跡見学会資料

日時:令和3年3月27日(土)

10時~12時(随時)

1、はじめに

「旧豊宮崎文庫」は伊勢市岡本3丁目に所在し、大正12年(1923)3月7日に国史跡に指定されました。現在、史跡内には往時の文庫を偲ぶ建築物として門と土塀が残っています。

伊勢市では門と土塀が築造より長い年月が経つことにより破損が見られたため、平成23年度から25年度にかけて保存修理工事を実施しました。また、令和元年度には、かつて存在した南堀の一部とその隣接地を買上げ公有地としました。

2、旧豊宮崎文庫とは

慶安元年(1648)に外宮権禰宜出口延佳らにより山田三芳等の協力のもとに創設されました。そして、寛文元年(1661)、山田奉行八木但馬守宗直が幕府に請願し、文庫の永代修繕料の寄進を受けました。以来、外宮神職子弟の修学の間、図書館としての機能をはたしました。毎月一定日に神典等の講義があり、大塩平八郎等多くの碩学の来講や書籍の奉納もあり、充実した施設となりました。

文庫内には書庫・講堂等がありましたが、明治元年(1868)に廃止となり、明治11年(1878)の火災により講堂が失われました。幸いにも危災を免れた2万余冊の書籍類は、現在神宮文庫・神宮徴古館に収蔵されています。

史跡内にある伊勢市指定天然記念物「オヤネザクラ(お屋根桜)」は、古くから伊勢市の春に彩りを添えてきました。

3、オヤネザクラ(お屋根桜)とは

豊宮崎文庫の創設の時、その主唱者の一人出口延佳の家の屋根に生えた苗を移植したとも、外宮正殿の屋根に生えた桜とも言われています。昭和3年(1928)に山桜の新種として発表されました。その特徴は花が最初から白くて5弁で、めしべの花柱の下部に毛があり、花柄や萼にも毛が見られることです。また、若葉は黄色を帯び、花期の時にたくさん出ます。昭和61年(1986)7月3日に市天然記念物に指定しています。現在、史跡内に2株残っています。

4、おわりに

伊勢市では旧豊宮崎文庫を昭和初期の様なオヤネザクラの桜の園(裏面の写真参照)にしていきたいと考えています。

今後とも旧豊宮崎文庫が貴重な文化遺産として後世に伝えられるように皆様のご協力をお願いいたします。

オヤネザクラの写真（『三重県に於ける主務大臣指定史蹟名勝天然紀念物 第一冊史蹟』〔昭和11年刊行〕の第12図版より）



(MEMO)